

市町村名 (市町村コード)	登米市 (04212)
地域名 (地域内農業集落名)	中田地区 ((石) 長根・白地・桑代・ニツ木・城内・新町・仲町・南町・新橋・蓬田・駒牽・茶畑・境堀・細谷・表・本町畑中・野元・十文字・東・蓬原・町・神畑・館・森六荒谷・柴六・下道・並柳・長崎・大泉・本宮・八幡山・冠木・弥勒寺北・弥勒寺南・寺山・金谷・(上) 長根・神ノ木・要害・大柳・(上) 新田・籠壇・川面・新小路・(浅) 新田・小島・沼畑・長谷・舟場・巻・浅部)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月19日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

本地区は、北上川の豊富な水と豊かな土壌が広がる水田地帯で昔からの米どころ。県内一の生産量を誇るきゅうりなど園芸も盛んな地域である。後継者不在による離農が顕在化しているが出し手農家の意向に沿った受け手への農地継承が難しくなっている。受け手となる担い手の生産効率を上げることが先決であり、担い手同士の協議によって農地の集積集約化を図らなくてはならない。地区の農地範囲が広大であるため、拡大志向の担い手だけでは対応できないことから、新たな担い手や法人経営体の雇用就農者の確保・育成が急務となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

大小様々の担い手の意向を踏まえながら、JA担い手推進協議会等で農地の集積集約化に向けた協議を定期的に行い、適切に農地の受け手を選定する。農地の集約化を進めながら、スマート農業を取り入れ先進的かつ生産性の高い農業を実現する。中心的担い手が集まり、スマート農業のみならず経営効率施策を共有し地区の農業雇用環境改善を推進し、後継者や農業法人の従業員確保・育成につなげる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3,814 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	3,433 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

--

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。